

令和7年度第2回府中市移動等円滑化促進方針等推進協議会市民部会 議事要旨

1 開催日時

令和7年12月11日（木）14時00分～15時38分

2 場所

府中市役所 府中駅北第二庁舎 6階打合せ室

3 出席者等

(1) 出席委員等（11名・名簿順）

大門部会長、高須委員、能松委員、河合委員、高野（淳）委員、太田委員、佐藤委員、成川委員、阿部委員、荒金委員、高野（佳）委員

(2) 欠席委員等（1名）

土方委員

(3) 事務局（6名）

轟都市整備部次長、三輪計画課交通企画担当主幹、山下部計画課交通企画担当主査、蓑田計画課交通企画担当、安藤道路課整備係長、土屋道路課整備係技術職員

(4) 傍聴者

1名

4 議事

(1) 報告事項：まち歩きワークショップの実施結果について

(2) 報告事項：福祉まつりへの出展結果について

(3) 審議事項：今後の進め方（案）について

5 配付資料

(1) 次第

(2) 委員名簿

(3) 資料1 まち歩きワークショップの実施結果

(4) 資料2 平和通り歩道改良工事におけるバリアフリー対応検討事項の概要

(5) 資料3 福祉まつりへの出展結果について

(6) 資料4 心のバリアフリーの取組及び次年度以降のバリアフリー基本計画の進め方について

(7) 参考資料 福祉まつり展示パネルほか

6 議事要旨

(1) 報告事項：まち歩きワークショップの実施結果について

○平和通りにおける自転車の歩道通行の危険性や自転車専用通行帯の設置等について委員より意見があり、府中警察署との連携などについて議論された。

○踏切の安全対策として、東府中駅周辺の踏切は横断の幅が長いことから、警報開始から遮断す

るまでの時間を延長することや、踏切遮断までの時間を歩行者信号のように表示することについて委員より意見があり、市民部会からの意見として協議会へ提示することが議論された。

○誘導ブロック、点字ブロックの更新について評価できる、エスコートゾーンが整備されるときには誘導ブロックとの接続に留意が必要である、歩車道分離にあたり視覚障害者からは2cmの段差があるほうが望ましい、と委員より意見があった。

(2) 報告事項：福祉まつりへの出展結果について

○福祉まつり当日は市内で多くの別のイベントがあったにも関わらず、73名のブース立ち寄り者がいたことは評価できる。一方、アンケート回答者12名は少ない印象であるため今後工夫が必要であると委員より意見があった。

○アンケート結果の共有や今後の展開について、関係する協議会の委員や市の各部署に伝達することについて議論された。

(3) 審議事項：今後の進め方（案）について

○施設のバリアフリーについて、ハードだけでなく従業員やサービスの運用の方法などについて具体的な提案があれば、障害当事者からも具体的な提案が可能であることから、ポイントやテーマを絞って議論することの必要性について委員より意見があった。

○各団体の活動や、団体としての意見を協議会へ紹介する機会を作ることについて議論があった。

○共生社会の実現のためには心のバリアフリーとして地域の方たちに知つてもらう必要があり、福祉まつりだけではなく協働まつりや小中学校への出前講座においても周知の必要があることなどについて委員より提案があり、まずは協議会での意見交換で相互理解を深めることや、当該内容についてホームページでの情報展開を実施していくことについて議論があった。

○計画策定や議論の場において、初めから当事者を検討のメンバーに入れておくことが望ましいが、事業者によってどの程度対応できるかが一律ではないため、少なくとも協議会の構成員である事業者については、意見を持ち帰り検討してもらう必要があるなど議論があった。

以上